

調査目的

- 都は、特養、老健施設、訪問看護ステーションに対し、「介護保険施設等における口腔ケア等実態調査」(平成26年度実施)を実施。その結果、施設利用者に歯科医師や歯科衛生士と連携をして口腔ケアを実施している介護保険施設は95.6%であった。また、訪問看護ステーションにおいても、歯科医師、歯科衛生士と連携して利用者の口腔ケアを行っている回答した施設は75.2%であった。
- 一方、地域包括ケアシステムにおいて、在宅療養患者を支える多職種連携をテーマに区市町村単位で事業が進められているが、その取組の中で、歯科の視点、口腔ケアの重要性の認識、歯科と他職種等との連携は、まだまだ進んでいないといった声が上がっている。
- このような状況の中、特に居宅の療養患者の口腔ケアや在宅歯科診療の現状を把握するため、ケアマネジャー及び居宅サービス利用者に対し、調査を実施した。

ケアマネジャー編

《調査概要》

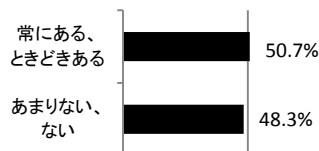
ケアマネジャーを対象に、利用者に対する歯科支援の意識や行動に関するアンケート調査を実施した。介護支援専門員連絡会及び研修会(区部1か所、多摩部1か所)にて調査票を配布・回収した。

《調査結果》 ・回収数 205件

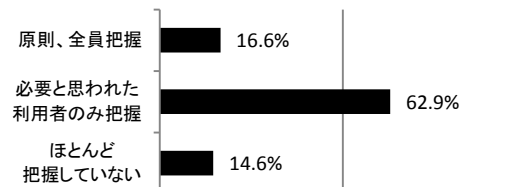
- ・属性 ①業務年数 10年未満66.3%、10年以上32.2%
- ②他の資格 介護福祉士65.4%、社会福祉士19.0%、看護師3.4%、歯科衛生士1.5%

・結果

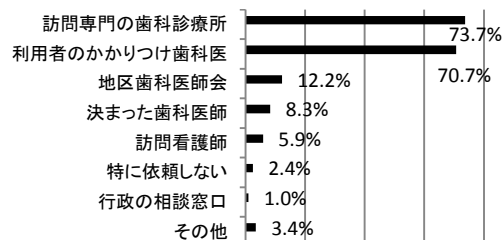
①利用者の口の中を見る機会



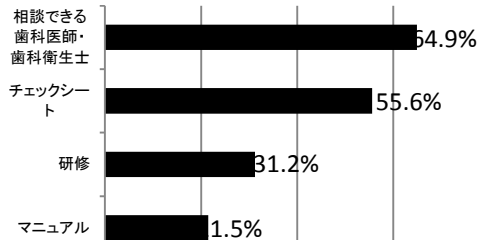
②利用者の口腔の状況把握



③相談先・依頼先



④口腔内状況の把握に必要なこと



⑤歯科について気軽に相談できる歯科医師・歯科衛生士の有無



居宅サービス利用者編

《調査概要》

居宅サービス利用者を対象に、口腔ケア等への意識や支援の状況に関するアンケート調査を実施した。(利用者・家族による回答または担当ケアマネジャーによる聞き取り)担当ケアマネジャーを通じて調査の依頼、調査票の回収を行った。(区1か所、多摩部1か所のケアマネジャー(各20名程度)の協力を得て実施した。)

《調査結果》 ・回収数 199件

・属性 介護度

介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
11.1%	13.1%	29.1%	19.1%	27.6%

・結果

①定期的な歯科医師等の口腔ケアの有無

	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5
受けている	54.5%	57.7%	44.8%	26.3%	41.8%
受けていない	45.5%	42.3%	55.2%	73.7%	58.2%

(同じ介護度の人数を母数とした)

②食事の時の状況

n=199人	介護度1	介護度2	介護度3	介護度4	介護度5	合計
食事が十分に取れていない	4	2	8	9	13	36
食事中によくむせることがある	1	5	5	3	17	31
食べ物をよくこぼす	1	6	20	13	12	52
よだれが多い	0	2	5	3	7	17
飲込むことに苦労することが多い	0	1	8	1	11	21
固いものが噛みにくい	11	10	24	21	26	92
舌に白い苔のようなものがついている	0	1	6	4	0	11
口が湿っている	2	6	4	6	4	22
口臭が気になる	3	3	4	3	3	16
入れ歯が外れやすい	2	9	5	4	7	27
歯が痛む	3	2	4	2	1	12
歯ぐきが痛む	4	3	6	4	2	19

③相談先



相談しない理由:
必要がない82.8%